

血圧脈波装置

- 近年、生活習慣病が注目される中、当院では脳梗塞・脳出血・狭心症・心筋梗塞などの予知に有用な血圧脈波装置(フォルム)を導入しました。検査に要する時間は血圧計を四カ所装着するのに五分程度、四カ所同時に加圧し、一度減圧し、再度加圧します。約十分で検査は終了し、級ハは報告されます。この検査からはABI・PWVの数値が計測されます。ABI(足関節上腕血圧比)は、寝た状態で、両足首と両上腕の血圧の比を測定することで血管の狭窄の程度がわかります。PWV(脈波伝搬速度)は、心臓から押し出された血液が、血管を通じて手や足に届くまでの時間から割り出された血流速度のことです。血管が硬いほど、その速度は早くなり、動脈硬化の程度を知ることができます。こうして数分間で動脈硬化を総合的に診断することができ、今後有用な検査になると思われます。検査は臨床検査技師が行いますが、検査の希望は各診療科の主治医にご相談下さい。